授業科目名	日本語表現１	教員名	川越　勇二
		Eメールアドレス	ykawagoe@miu.ac.jp
授業形態	講義	オフィスアワー	授業終了後随時
科目番号	JEX1-1	担当形態	単独
単位数	２単位	配当年次	１年
アクティブ・ラーニング	対話を重視し、ペア・ワーク、グループ・ワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等の活動を行う。	卒業要件	必修
一般目標	・日本語への関心を高め、日本語の特質を理解する。【日本語への関心・理解】 ・さまざまな表現方法を理解し、自分の考えや心情を表現できる。【表現方法の習得・活用】 ・表現することを通じて、他者や社会とつながり、より良い生き方を探求する。【生き方の探求】		
到達目標	(1)話題や題材を生かし、情報を分析しつつ、論理的思考ができる。 (2)相手の立場や自分とは異なる考えを尊重し、意義ある討論を行い、論拠の妥当性を判断できる。 (3)論理の構成や描写の仕方などをさまざまに工夫して表現できる。 (4)日本語におけるさまざまな表現法を習得し、相手意識をもって話したり書いたりできる。 (5)読書の幅を広げ、読書に親しみ、自分の生き方を考えることができる。 (6)言語文化に対する関心を持ち、それらを尊重しつつより視野を広げることができる。		
授業の概要	価値観の多様化する現代において、言語環境は大きく変容しているが、その中にあって、論理的に思考する力、豊かな発想のもととなる創造力、またそれを表現する力が必要不可欠となっている。本授業では、日本語表現の多様性と豊かさを知り、日本語で適切かつ効果的に表現する能力の育成をめざすことを目標とする。内容は、文学作品の鑑賞、ことばの意味分析、俳句の創作及び相互批評、日本語の特質や文章表現の基本、日本語に関する研究発表及び討議などである。対話を重視したペア・ワーク、グループ・ワーク、ディスカッションやプレゼンテーションといった言語活動を繰り返す中で、日本語表現に対する興味・関心を高め、表現することの意義を考えさせたい。		
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「４．日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。		
履修条件・注意事項	・講義には常に出席し、講義の時間に遅刻しない。 ・正当な理由（証明）のない遅刻については、1/2の出席とする。 ・講義の出席が３分の２を満たさない者は辞退とする。		
授業計画	第１回：授業概要説明　日本語表現を学ぶ意義（目標(1)(5)(6)） 第２回：表現を味わう①（目標(1)(4)(5)(6)） 第３回：表現を味わう②（目標(1)(4)(5)(6)） 第４回：ことばの意味分析（目標(1)(2)(4)(6)） 第５回：作品の創作・批評①（目標(2)(3)(4)(6)） 第６回：作品の創作・批評②（目標(2)(3)(4)(6)） 第７回：作品の創作・批評③（目標(2)(3)(4)(6)） 第８回：日本語の特質（目標(1)(2)(6)） 第９回：敬語・語彙（目標(1)(2)(4)(6)） 第10回：文章表現の基本（目標(1)(3)(4)） 第11回：日本語表現に関する研究①（目標(1)(2)(3)(4)(6)） 第12回：日本語表現に関する研究②（目標(1)(2)(4)(5)(6)） 第13回：日本語表現に関する研究③（目標(1)(2)(4)(5)(6)） 第14回：対話・討論（目標(1)(2)(3)(4)）		

	第15回： 日本語表現に関するまとめ（目標(1)(2)(5)(6)） 定期試験：日本語表現に関する論述
学生に対する評価	授業への取り組み状況（３０%）・課題・レポート・発表（３０%）・定期試験（４０%）を総合して評価する。 なお、課題・レポート・発表等へのフィードバックについては、以下の方法による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに口頭で行う。 ・模範例を提示する。
時間外の学習について	・課題・レポート・発表資料については、必ず指定された日までに提出すること。 ・発表等の準備を周到に行うこと。
テキスト	授業時に適宜教材・資料を配布する。
参考書・参考資料等	随時、適切なテキスト・資料等を紹介する。